

## 2016年度業務報告

2016年度理事長

近 藤 健 治



昨年この場で、イノベーションを取り巻く環境変化について3つ挙げました。1つは経済連携がどんどん推進されているということ。2つ目は、オープンイノベーションが広がり、更にその重要性が増してきているということ。3つ目は、デジタル・ネットワークの発達というものでありました。それらを念頭に置きながら、昨年度はいろいろなイベントや検討を進めてまいりました。その中で、イノベーションに資する知財システムというものはどうあるべきか、あるいは、知財紛争処理システムというものはどうあるべきか、また、知財の人材育成というものはどうしていくべきかというような点を検討いたしまして、産業界の視点からいろいろと提言してきたというのが昨年度であったと思います。

プロジェクトの中から少し活動を紹介したいと思います。

まず、アジア戦略プロジェクトです。模倣品対策を行ったり、東アジア／東南アジア／インドといったところで法律や運用に関する渉外活動を行ってまいりました。成果といたしましては、例えば、台湾で意匠権の権利期間の延長がなされたとか、あるいはタイでは審査官の増員につながったことなどが挙げられ、当協会の要望を反映した形で動いてきたと思います。

日中企業連携プロジェクトにおいては、今年は、上海、天津、広州で会合を開くことができました。特に、上海と天津におきましては、10回目の記念大会ということで、上海、天津の知識産権局長もお招きして大々的に行うことができました。

今回参加して感じたのですが、中国企業の知財マネジメントは非常に進歩してきていて、我々も負けそうになるような企業も出てきているというような状況です。そういった情報を会員企業の皆様にこれからも提供していけるように、今後もこの意見交換は続けていきたいと考えております。

国際政策プロジェクトでは、制度調和の議論について、三極ユーザー会合やIP5のユーザー会合といったところで、ユーザーの意見を調整したり、リードしてまいりました。

そして、WIPOプロジェクトでは、WIPOとより密接に協力しながら知財制度をより良いものにしていこうということで、WIPOとMOUを結びまして活動しております。その第1弾として、今年の2月1日にガリ事務局長がいらっしゃったときに、経団連とともに意見交換をしました。内容は第4次産業革命に関するもので、ガリ事務局長のご見解を聞ける貴重な意見交換会でした。

知財シンポジウムでのテーマは「激動のビジネス革新！ 第4次産業革命と知財」ということで、非常に多数の方に来て頂きました。関東で実施したシンポジウムの中では、過去最多だと聞いております。アンケートの結果も非常に良好でした。私としては、このシンポジウムを通して会員企業の皆

様に、「今は改革のときだ」、「変わらないといけない」というメッセージを送ることができたのではないかと思います。

知財活性化プロジェクトでは、田中前会長にもご出席いただきまして、企業経営者向け「グローバルビジネスシンポジウム」を開催いたしました。更には、臨時研修「グローバル時代の知財経営と交渉術」を通して、戦略的に知財を活用する重要性というものを訴えてきました。

次世代コンテンツ政策プロジェクトでは、柔軟な権利制限規定のあり方というものを検討し、しかるべきところで提言してきました。

以上が、プロジェクトの活動概略です。そのほかに各種パブコメ対応をしたり、調査団、あるいは代表団を派遣したり、様々な活動を行ってきましたが、それらの詳細については、お手元の「2016年度業務報告書」をご覧くださいと思います。

ここでどうしても申し上げたいのが、『季刊じば』についてです。これは田中前会長の肝いりです。『知財管理』というのは非常に専門性がある中身も濃くて非常に良いという評価を得ているのですが、いかんせん読みにくい。経営者の方には読もうとも思われなような資料だとのことで、もっと取っ付きやすいものをつくりなさいというご指示がありました。それから1年間検討してようやく完成することができました。この季刊誌については、会員外の方にも配って、知財の啓発とともにJIPAの認知度アップにつなげていきたいと思っています。

それから人材育成ですが、研修を受けられた総受講者数は、前年度比93%でありました。昨年度に比べて受講者数が減った主な要因は、臨時コースの受講者数が前年度比80%になったことにあります。一昨年度は職務発明制度の法律改正に関する研修が大盛況となりました。それに比較すると80%なのですが、受講者数自体を見ても、比較的多くの方に受講して頂けたと思っています。

総会員数は4社増加し1,276社になりました。今年度はもっともっと多くの方に入っていただけるよう努力いたします。

そして、ここで皆さんにお伝えしたいのは、中少数知財会員のフォローアップ会です。関西ベースでやっているのですが、知財部員が10名以下の企業の方だけが集まって、それぞれの持っている課題、あるいはその対策などを議論するというものです。非常に良い活動で、今年の知財シンポジウムでも会長賞を受賞しました。その活動を関東にも広げようということで昨年度開催いたしました。これも非常に好評でしたので、今年度も引き続き関東でも開催したいと思っています。

最後になりますが、地方活性化を目的に、サテライト研修のトライアルを昨年度実施しました。トライアル結果は良好でしたので、本年度は本格的に実施していきます。

以上が報告となります。ありがとうございます。